

読書活動を推進するために

1. 学校の概要

- (1) 相馬市中村字大手先57-1
- (2) 学級数 12 生徒数 428 名（令和6年5月1日現在）
- (3) 学校図書館の蔵書数 21,224 冊（令和6年3月31日現在）

2. 本校の取り組み

(1) 図書館の利用率を高める

- ① 新入生に対する「図書館利用オリエンテーション」の実施(4月)
- ② 「図書館だより」(月1回)を発行。
 - ・図書委員のおすすめ本や新規購入図書を紹介。
 - ・秋には受験対策に活用できる図書館資料を紹介する「特別号」を配布(3年生のみ)。
- ③ 特集コーナーの定期的な更新
 - ・毎月テーマを変えて図書を展示・貸出。
- ④ 学校内の廊下に「出張図書館」を開設
 - ・本に触れる機会を増やすために設置。貸出希望者は図書館に来て手続きを行う。



⑤ 図書館報「めもあーる」の発行

- ・生徒、教職員からのおすすめ本の紹介

(2) 学習・進路のサポート

①総合的な探究の時間のための資料提供

- ・地域資料・東日本大震災コーナーの充実。



福島県に関する本を集めたコーナー。
地域や東日本大震災に関する資料の
充実に努めている。

②生徒の進路実現をサポートするための資料、情報の提供

- ・小論文・進路に関する資料コーナーの設置。
- ・小論文対策のための図書リスト作成。



小論文でよく取り上げられるテー
マの本や進学・仕事に関する本
などをまとめたコーナー。

3. 図書委員会活動

①おすすめ本の紹介文を作成。

紹介文は「図書館だより」や図書館報に掲載。

②他校との交流企画

令和4年度より若松商業高校、須賀川桐陽高校との合同企画「はま・なか・あいづ 各校のオススメ本」を実施。秋の読書週間に合わせ、各校図書委員のおすすめ本を紹介文と共に展示している(本校では①で作成した紹介文を使用)。また、読書や学校生活に関するアンケート企画、本に関する質問の応答など毎年工夫をこらした交流を行っている。

③図書館報「めもあーる」を発行するための編集作業を行う。

④文化祭に、本に関する企画で参加する。

4. 他機関との連携

①公共図書館と連携し、本校図書館に無い本を借り受ける。

②本校図書館で調べきれない事がある場合は、より多くの本を所蔵する公共図書館に問い合わせる。